

# イノベーション教育 (グローバル・ICT活用)研究部会 実施案内

未来を見据えた教育への転換  
～豊かな学びを生むテクノロジーの活用～

会期：12月12日(木)～13日(金) 会場：AP東京八重洲  
(東京都中央区・JR東京駅徒歩6分)

募集人数 50名

対象 理事長、校長、副校長・教頭、  
グローバル・ICT・キャリア教育等担当及び一般の教員  
※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

参加費 25,000円 (1日目教育懇談会費、2日目昼食費を含む。宿泊費別。)

スケジュール

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	30			30	30		30 45	30		30
Day1 12/12 (木)					受付	開 会 式	講演 ワークショップ	対談①		教育懇談会
Day2 12/13 (金)		講演	対談②	昼食	研究協議	閉 会 式				

※プログラムは変更になる場合があります。

## 講師

水本 篤 (関西大学外国語学部教授)

土井寛之 (株式会社SPLYZA代表取締役)

高橋一也 (東京理科大学非常勤講師)

### 1 授業での生成AIの活用方法

ワークショップを通して生成AIを使用しながら、AI時代の教育のあり方を模索します。

### 2 教科横断的な探究学習

ICT・AIを活用した、教科横断的な探究学習について学びます。

### 3 イノベーションを創出するマインドセット

講師による刺激的な講演や他の参加者との交流を通して、マインドセットの変革を目指します。

昨年度当部会では、急速に発展するテキスト生成AI技術の基礎から発展までを取り上げた。今年度は実際の授業でどのようにAIを活用することができるのかを体験しながら、学びをより豊かにするためのテクノロジー活用やAI時代の教育のあり方について理解を深める。

子供たちの創造力等の非認知能力をいかに養うか。教員一人ひとりが、そして学校全体が向き合わねばならない喫緊の課題である。他教科と協働した教科横断的な探究学習の実践も重要性を増している。

また、イノベーションを創出する講師による講演はマインドセットを変革するきっかけとなるだろう。

当部会では、参加者同士が情報交換できる時間も多く設けている。学校を超えた繋がりを作り、子供たちが生きる未来社会を見据えた教育への転換について、ともに考察を深める機会としたい。

○主催 一般財団法人日本私学教育研究所  
○後援 日本私立中学高等学校連合会

## 一般財団法人日本私学教育研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8  
市ヶ谷UNビル6階  
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683  
<https://www.shigaku.or.jp/>



2024.7

当日はノートパソコンまたはタブレット端末をご持参下さい。

## ◆講師プロフィール◆

### 水本 篤（関西大学外国語学部教授）

専門はコーパスの教育利用、語彙学習方略、言語テストング。近年はコーパスを利用した学習と指導に関する研究を主に進めている。著作に『外国語教育研究ハンドブック』（2012年、松柏社、共編著）、『ICTを活用した英語アカデミック・ライティング指導—支援ツールの開発と実践—』（2017年、金星堂、編著）などがあり、専門に関する論文は、Applied Linguistics、Language Teaching Research、Language Testing、Language Learning、Systemなどの国際ジャーナルに掲載されている。2014年全国英語教育学会（JASELE）学術奨励賞受賞。2016年英語コーパス学会（JAECS）奨励賞受賞。2017年外国語教育メディア学会（LET）学術賞受賞。



### 土井 寛之（株式会社 SPLYZA 代表取締役）

元 CAD ソフトウェアエンジニア。社会人になってからウィンドサーフィンに会い、単身オーストラリアへ。現地の中高一貫校で第二言語としての日本語教育に携わる。帰国後アマチュアスポーツマンの「もっと上手になりたい」を叶えるため、映像を活用した「IT×スポーツ」のサービス実現にむけ 2011年創業。そのビジネスモデルは Microsoft Innovation Award 2015 で優秀賞を受賞したほか、経済産業省「始動 Next Innovator 2016」の採択を受けるなど、高く評価されている。代表的アプリ『SPLYZA Teams』と『SPLYZA Motion』は 900 以上の小学校・中学校・高等学校で授業や部活動において導入されている。人生のテーマは「7分の7ワクワクする日々を体現する」。



### 高橋 一也（東京理科大学非常勤講師）

慶應義塾大学大学院、米・ジョージア大学大学院でインストラクショナルデザインを研究（全米優等生協会選出）、蘭・ユトレヒト大学大学院で認知心理学を学ぶ。2014年より工学院大学附属中学高等学校の英語教諭として勤務し、2016年度より中学教頭を務める。2016年には日本人として初めてグローバル・ティーチャー賞の最終候補に選出される。全国の学校で授業力向上の支援に力を入れている。現在は ELSA Japan 合同会社 事業開発部長として勤務しながら、東北大学大学院医学系研究科で脳科学を研究。テクノロジーと教育、脳科学に興味があり、新しい時代の「学び」について考えている。



#### 講師・指導員（順不同）

- 水本 篤（関西大学外国語学部教授）
- 土井 寛之（株式会社 SPLYZA 代表取締役）
- 高橋 一也（東京理科大学非常勤講師）
- 平方 邦行（一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長）

#### 専門委員・指導員（順不同）

- 平方 邦行（一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長）
- 大羽 聡（千葉英和高等学校理事長・校長）
- 山中 幸平（学校法人山中学園学園長）
- 水谷 厚志（出雲北陵中学高等学校理事長・校長）
- 原田 賢幸（学校法人原田学園理事長）
- 川本 芳久（一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長）

## ◆会場案内◆

### AP 東京八重洲

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-10-7 KPP 八重洲ビル  
TEL: 03-6228-8109

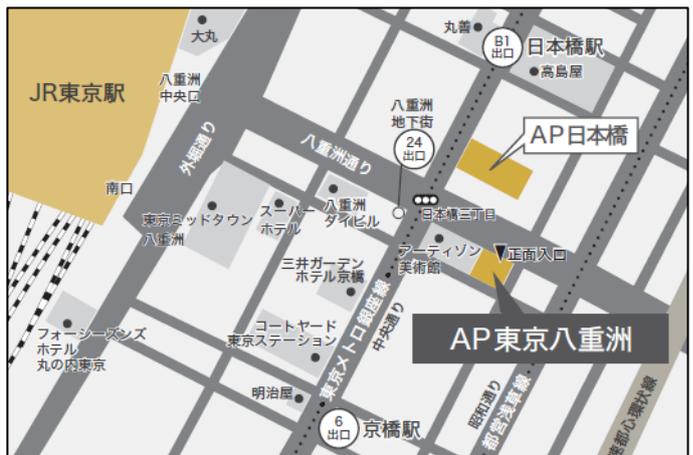
◎JR 東京駅八重洲中央口より徒歩 6 分



◀アクセス▶



◀東京駅から会場まで▶



## ◆プログラム◆

〈会場〉AP 東京八重洲 11 階「L+M」

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

## 【1 日目】12 月 12 日(木)

13:00-13:30	◇受付◇
13:30-14:00	◇開会式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長 研修会運営方針説明 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員長 3. 役員・専門委員紹介 4. 日程説明 5. 閉式
14:00-15:30	◇講演・ワークショップ◇ 司会・講師紹介 山中 幸平 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 テーマ 教科教育における生成 AI 利用の現状と今後の展望 講師 水本 篤 関西大学外国語学部教授
15:30-17:00	◇対談①◇ 司会 山中 幸平 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 講師 水本 篤 関西大学外国語学部教授 コーディネーター 高橋 一也 東京理科大学非常勤講師
17:00-18:30	◇教育懇談会◇ <会場>同 11 階「K」 司会 原田 賢幸 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 平方 邦行 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員長 3. 講師紹介 4. 乾杯 水谷 厚志 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 5. 閉式

## 【2 日目】12 月 13 日(金)

〈会場〉AP 東京八重洲 11 階「L+M」

9:30-11:00	◇講演◇ 司会・講師紹介 大羽 聡 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 演題 AI を活用した教科横断的な探究学習、イノベーションを創出するマインドセットについて 講師 土井 寛之 株式会社 SPLYZA 代表取締役
11:00-12:30	◇対談②◇ 司会 大羽 聡 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 講師 土井 寛之 株式会社 SPLYZA 代表取締役 コーディネーター 高橋 一也 東京理科大学非常勤講師
12:30-13:30	◇昼食◇
13:30-14:30	◇研究協議◇ 司会 水谷 厚志 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 参加者同士で意見交換を行います。
14:30-14:45	◇閉会式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開式 2. 総括・閉会挨拶 原田 賢幸 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員

## ◆参加者へのお願い◆

当研修会での主催者記録係・取材メディア以外による録画・録音は禁止します。

講師・発表者等の許可無く研修会の写真・内容等のホームページ・ブログや各種 SNS 等へのアップロードは禁止します。

撮影した動画・写真は当研究所広報活動(刊行物・ホームページ掲載等)や取材メディアの新聞掲載等で使用する場合があります。

会場内の様子を撮影する関係上、参加者が写真や動画に映り込む可能性がありますので、予めご了承下さい。

## ◆参加申込方法◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込先に FAX または郵送でお送り下さい。お電話での申込みはできません。

### <申込先>

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階  
一般財団法人日本私学教育研究所 研修会担当 宛  
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683  
ホームページ URL <https://www.shigaku.or.jp/>



2. 申込みは先着順に受付けます。募集人数を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。申込みを締切った場合は当研究所ホームページでお知らせします。

**申込み締切日 11月29日(金)必着**

3. 参加申込書受付後、「参加確認証」及び「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りします。参加費は「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）払込用紙」で、指定されたコンビニエンスストアで下記振込期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。「参加確認証」は、研修会当日受付にてご提示下さい。

**参加費振込期限・キャンセル期限 12月4日(水)**

4. 申込後、2週間以内に「参加確認証」等が届かない場合は電話にてご連絡下さい。

## ◆変更・キャンセル・欠席について◆

必ず FAX にて日本私学教育研究所へご連絡下さい。キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」を FAX にて返信します。変更の場合は、「参加確認証（再発行）」を郵送します。書類が届かない場合は、必ず電話にてご確認下さい。

12月4日(水)迄のご連絡	12月5日(木)以降のご連絡及び無断欠席
<u>事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金します。</u>	<u>参加費の返金はできません。</u> 研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として参加費全額を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。

## ◆個人情報の取扱いについて◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合にのみ利用します。

## ◆傷害保険について◆

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入しませんのでご承知置き下さい。

※研修会における新型コロナウイルス感染症への対応方針は[当研究所ホームページ](#)をご覧ください。



(昨年度当部会の様子)

**当日はノートパソコン  
またはタブレット端末  
を必ずご持参下さい！**

FAX番号 03-3222-1683

※送信前に今一度 FAX 番号をご確認下さい。0(ゼロ)発信の FAX 機でお送りいただく場合は、「0」を押してから、FAX 番号を押して下さい。

令和6年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会  
イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究部会  
参加申込書

記入日：令和6年\_\_月\_\_日

参加者氏名	(ふりがな)	職名
学校(法人)名		担当教科
学校住所	〒	校務分掌
	TEL ( ) FAX ( )	
☆参加者本人以外または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先・受取人氏名をご記入下さい。		
緊急連絡先 (携帯電話番号)		
☆緊急の場合、確実に連絡が取れる携帯電話番号をご記入下さい。		
メールアドレス		

## 事前アンケート

以下にご記入いただくか、11月29日(金)までに右記のQRコード(Google フォーム)からご回答下さい。<<https://forms.gle/cNHARhbLvcAeVUe56>>

- ① 貴校における生成AIの導入・活用状況について概要をご記入下さい。
- ② 講師へ質問がございましたらご記入下さい。(時間の都合上お答えできない場合もございますのでご了承下さい。)

通信欄

当日はノートパソコンまたはタブレット端末を必ずご持参下さい。  
会場では各机に電源タップをご用意します。Wi-Fi もご利用いただけます。※FAX または郵送でお申込み下さい。  
※複数名の参加の場合は、本参加申込書をコピーしてお申込み下さい。受付No.  
(研究所使用)